



增補

廣類願體俚諺鈔

後集 卷一

古今
13
49

9
3443
5



3443
5

序

明道先生嘗曰聖人千言
萬語無非教人以收其放
心六經不可一日去手石
林豈欺我哉下此則凡有
關於勸戒者皆足以羽翼

頤體集印解卷第後編

乙

經傳而為家居所當備之
書願體集其一也平山史
氏抄撰於前老友子登增
補於後且為分門別類開
卷瞭然如白香山詩老嫗
可解如朱子小學啓蒙必

須如聞晨鐘發人深省如
聽雅奏躁心悉平鑿鑿乎
如五穀必可以療飢斷斷
乎如藥石必可以伐病救
世婆心和盤托出若視為
老生常談等之雲煙過眼

吾知其_レ人必_ス飽食終日無_キ
所_レ用心者也必_ス有_テ放心而_レ
不_レ知求者也孔子曰_レ難矣_{イカナ}
哉者必_ス此人也孟子曰_レ哀_イ
哉者必_ス此人也夫以_ニ六經_一
之書視_レ之以_テ爲_ニ義根深而_レ

難解猶可_レ言也_ツ以_テ淺顯_{ハス}正_シ
當_ニ之_コ書視_レ之又_タ以_テ爲_ニ朴野_一
而不足_レ觀不可_レ言也吾甚_タ
願_フ人勿_ニ復_タ而效_シ之也吾_レ
甚_タ願_フ人深_ク體而力_ニ行_ラ之以_テ
期_ニ合_ニ於_ニ作者_一之初心也

○事々培元氣其人必壽等ノ事

○急難濟人一善可當百善等ノ事

○徑路穿處須讓一步與人行等ノ事

○人之所賴以生者惟錢財等ノ事

○善ヲ行ニ大小ノ差アル事

第三 世情章 十七段

○夫世猶水也身猶舟等ノ事

○破損之物可以久用等ノ事

○處富貴人ハ世ノ艱難ヲ不知等ノ事

○成名毎在窮苦日等ノ事

○建功立業者多和平之士ノ事

○冷暖一定ナレ貴賤ノ一何ゾ常ラランノ事

○未富先富カ知スル者ハ必不富等ノ事

○求足何時足等ノ事

○人利之事我勿爲等ノ事

○利ハ人ト共ニシテ不可獨受ノ事

○辱人以不堪必反辱ノ事

○貧賤生勤儉勤儉生富貴等ノ事

○人之禍患皆自多事生來等ノ事

○世間惟財與色能耗人精氣等ノ事

○凡順境ニ處スル一逆境ニ處スルト差ノ事

○天理ト人心トニ依テ君子小人ノ行ノ事

○貧賤ノ人求ナシト云凡富貴ノ人ニ嫌事

第三 禮節章

○禮節雖屬虛文爲人不可不習熟ノ事

○人ニ物ヲ送モ用ニ立物ヲ饋ヘキ事

○慇懃モ過テ行者ハ必詐アル等ノ事

○富貴ノ人貧賤ノ人ノ禮物ヲ受ル誤ノ事

○過テ恭者ハ後必薄キ等ノ事

○酒宴ニ赴ハ太遲往ナカレノ事

○父母歿セシ時他ノ弔ヲ受テモ誤アル事

○今人ハ心驕贈物ヲ過分ニスル誤ノ事

○男女相見ハ近キ親族ノ三然ニ今世ハ誤アル事

○貧賤ノ親類ヲ見テハ外族ノ如スル誤ノ事

○禮節ハ恭敬ニ出ト云事

○禮ハ冠婚喪祭ノ四ヲ主トスル事

第四 節儉章

十三段

○慳吝太甚ハ未免有俗惡之態事

○衣服冠履ノ飾太人ニ異ナルナカレノ事

○專書畫古物ヲ好ハ貧ノ基ナル事

○鄙吝奢率ノ二太過ハ共ニ不順ノ事

○居家之病飲食土木争訟玩好惰慢ノ事

○婚姻ノ事ニ過分ニ費ヲ費誤ノ事

○驕ヲ專ニ過分ノ費ヲナス誤ノ事

○家ヲ造ニ太美ヲ盡ス誤ノ事

○南北風土ノ厚薄ニ依テ貧富ヲ論スル誤ノ事

○成敗興衰ハ固ニ氣數ニ關ト云事

○先祖ノ富貴ハ詩書ノ中ヨリ來トノ事

○貧富ハ勤儉ノ二字ニ關ル事

○富貴ハ必驕奢ニ淪△等ノ事

第五 待人章 二十二段

○濟人貧窮者勿問其所以貧窮ト云等ノ事

○勿以人負我而驟爲善之心ト云事

○富貴之家常有困窮親戚來往事

○待富貴人不難有禮而難有體ト云等ノ事

○凡情留不盡之意則味深等ノ事

○排難解紛實行門中第一義ナル事

○善人ハ固ニ可親等ノ事

○骨肉ノ貧者ハ莫疎等ノ事

○執初ノ徒逆事ヲナス時ノ事

○不得已不義ノ人ト一處ニ住スル事

○志不同人ト強不可交事

○自謙則人愈服自誇則人必疑等ノ事

○若親友ノ内短氣ノ人アラバ預可諫事

○人有訾人而人不答者必有所容事

○人ノ世ニ在多事ヲ不可好等ノ事

○臘月ニ至テ。拂ヲナス事

○隣ニ喪アラスバ不可快飲高歌事

○人有急難告テヲ恥ル者アル時ノ事

○攻人之惡母太嚴等ノ事

○我人ニ恩ヲ施シテ報ヲ求サル等ノ事

○君子ハ人ヲ險ニ迫シメサル等ノ事

○凡事ヲ作シハ自他利アル事ヲナスベキ等ノ事

第六 制作事

二段

○作書作歌必可加意等ノ事

○天文術數ノ書ヲ習ハ無益ノ事

第七 知足歌

○卷之二

第二 觀人章

十二段

○人ノ善惡尤深者兩種アル等ノ事

○非道惡言ヲ以テ激スレバ不怒者ノ事

○遇沉々不語之士等ノ事

○謾人而使人不覺謾者ノ事

○有才而性緩た人ハ定テ是太才等ノ事

○平生強頸ニシテ直言ヲ好人ノ事

○男女已ガ私ヲ以テ容易相合者ノ事

○已ガ便宜ヲ好者トノ交等ノ事

○奸曲ノ人ハ詐テ好名等ノ事

○鷹立如耽虎行似病奸惡之輩上同事

○觀富貴人富觀其氣概等ノ事

○凡觀人ニハ先其人ノ平生ヲ觀ベキ等ノ事

第二 處事章

十九段

○凡遇不得意事

○凡事不可輕忽等ノ事

○凡做上思事ハ速ニ做ベキ事

○自信者不疑人事

○人之謗我ニハ與ニ不辨事

○人ト人ト相争時諫ノ事

○待有餘而後濟人事

○爲人謀事必如爲己謀事スル事

○處兄弟骨肉之變宜從容事

○無病之身不知其樂事

○容人之過非順人之非事

○喜ノ盛時人ニ物ヲ送ント約束スル等ノ事

○事ニ臨テハ胸中了々ノ事

○事不見幾等ノ事

○朦朧精密ノ二ハ聰明蒙懂ノ窟根ノ事

○俄ニ禍ヲ得ハ重義輕財人ヲ頼ベキ事

○事未來先ニ前人ノ已ニ損益アリシ處ヲ考ヘキ事

○用ニ片真實待人等ノ事

○遇コト小事コト不可レ以其小コト而忽ス之コト爭ヒ

第三 馭下章

十三段

○奴僕ノ小過ハ宜實事

○奢人待齋不如察下人之暴殄等ノ事

○待下固當和而無節反生其侮等ノ事

○凡收僕從寧拙勿巧等ノ事

○奴僕ヲ使人慈愛ナクンバアルベカラサル事

○奴婢ヲ使家不可無憐等ノ事

○人有尊卑情無上下等ノ事

○語云人品有貴賤口腹無尊卑ト云事

○奴婢ヲ使ハ年月ヲ限テ僱ヘキ事

○鰥寡孤獨ノ貧キ輩ヲ待事

○奴婢タル者ハ不可不加憐憫ノ論

○多ク奴婢ヲ使人ハ不可無信等ノ事

○奴僕ヲ使ニハ必家法アルベキ事

第四 存心章

十九段

○勿多言言多則多敗等ノ事

○能樂道人ハ凡事ヲ事トスルコトナキ事

○夙起夜寐思忠孝人ノ事

○君子ハ二ツ畏アル事

○恭アル時ハ患ヲ遠等ノ事

○責人者ハ不全交等ノ事

○無欲速無見小利ノ事

○事アリテ富ヨリ。寧事ナクノ貪ラシニハ等ノ事

○眼前ノ田地ノ窳ヲ恨ルナカレ等ノ事

○求財不可恨不多ノ事

○貪バ物ヲ外ニ逐欲スレハ情内ニ動等ノ事

○誠ニハ悔ナク。恕ニハ怨ナキ等ノ事

○膽ハ大ナランコトヲ欲スル等ノ事

○薄施シテ。厚望者ハ不有報等ノ事

○聰明叡智ニシテ。愚ノ如ニスル等ノ事

○篤信好學等ノ事

○博學テ切ニ問事

○人雖至愚責人則明等ノ事

○富貴ハ智力ヲ以テ不得求事

第五 安分章 二段

○不在其位不可謀其政

○自知者不怨人等ノ事

第六 繼善章 二十一段

○國君ハ。以善可寶事

○他人ノ善ヲ見テ。慎テ學ヘキ等ノ事

○人二三様アル事

○處富貴行惡則禍雖未至。福自遠等ノ事

○禍福ハ門ナシ。人自招之事

- 爲子孫爲富貴計不顧其惡必取敗等ノ事
- 仁慈ナル者ハ必壽等ノ事
- 善人ハ不善人ノ師等ノ事
- 人於我善則我亦善之等ノ事
- 以忠孝遺子孫者必昌等ノ事
- 積金遺子孫子孫未能守之等ノ事
- 出言善則千里應之等ノ事
- 君子ハ毫釐ノ善ヲ見テ不顧之等ノ事
- 終身行善善猶不足トノ事
- 見善如渴スル等ノ事
- 善惡ハ自損益アル事

- 善事ヲ貪ハカ厄ヒ惡事ヲ樂ム一ナカレノ事
 - 積善ノ家ニハ餘慶アル等ノ事
 - 以惡小無爲之等ノ事
 - 積善逢善等ノ事
 - 爲善者ニハ天福ヲ以スル等ノ事
- 第七 天理章 八段

- 順天者存スル等ノ事
- 罪ヲ天ニ獲時ノ事
- 人爲不善一旦顯名者ノ事
- 人ヲ欺ハ必自其心ヲ欺事
- 人間ノ私語天聞之如雷等ノ事

○天ハ聽^キ凡^ノ。寂^ニシテ音^ナキ等ノ事

○事ヲ謀^ハ。人ニ在^リト云事

○循^テ天理則不求利而無^レ不^レ有^レ自利ト云事

第八 順命章

五段

○愚^ク凶^ニノ富^モアリ。聰明^ニノ貧^モアル事

○知^ル命^人ハ見^レ利^ヲ不^レ動^等ノ事

○臨^シ財^無苟^得ノ事

○凡^ガノ不^可著^處ハ。便^是命也ノ事

○一^飲一^啄都^命中ニ定^ルノ事

○卷之三

第一 錢財章

六段

○財寶ヲ取^替バ。始^ニ明白^ニ致^スベキ事

○金銀ヲ借^{タル}人延^引ス凡^不可^辱等ノ事

○借^{タル}人償^延引^{スレ}ハ後^悔アル事

○他ノ物ヲ寄^ハ無^益ノ事

○貧^ニ他ノ金銀衣服ヲ借^{タル}人責^事

○金銀ハ人命ヲ養^寶ノ事

第二 人情章 十七段

○子ハ父ノ貧^ヲ怨^ル等ノ事

○若^シ想^錢來^誰不^想等ノ事

○人在^病中者百念都爲^灰等ノ事

○我^子僕^若人ト相^爭ハ戒^勿悞^人等ノ事

- 貪而驕等ノ事
- 色心熾則退而不思命危等ノ事
- 成敗興衰ハ常ニ不定等ノ事
- 遠惡人者開一ノ路可與彼事
- 事急ニノ不埒者等ノ事
- 酒興ニ乘ジ互ニ戲之云テ慰トスル等ノ事
- 爲搭會大ニ不可ナル事
- 貧朋友ノ内ニ婚喪ノ事アル事
- 聰明ノ人モ愚ナル体ヲノ自能守等ノ事
- 借金銀其人ノ虚實ヲ審ニスヘキ事
- 人只知耕種苦不知炊煮難等ノ事

第三 訓子章

十段

- 凡事有不合時者人皆謂之不作事
- 人心不同有如其面
- 凡人百藝好隨身只博奕ノ三不可知等ノ事
- 凡生子幼少ヨリ可加家庭事
- 男子女子失教成長ノ頑愚粗鄙トナル事
- 賢ナル父ト師トナケレバ身ヲ失フ事
- 黄金滿籬ノ子ニ讓ハ不如教ニ經事
- 賢子モ不教智不明事
- 詩書不教子孫必愚ナル事
- 子孫愚ナレバ禮義疎等ノ喻

- 父母子ヲ教サルハ不愛子也ノ事
- 父師子各過アル事

第四 保養章 五段

- 獨宿ノ養生ノ事
- 養生ニ爐火ノ比喩ノ事
- 人ノ一身ノ脾胃ヲ以テ主トスト云論
- 人ノ斷喪ハ色慾ノミニ不限ト云事
- 好生惡死ハ人ノ同情ノ事

第五 婦行章 四段

- 古婦人子ヲ姪時ハ其身ヲ守ヲ第一トスル事
- 孀婦ハ禮ニ於テ似不可娶ト云ノ問答

- 婦人ノ身持ノ事
- 女ニ四德ノ譽アル事

第六 交友章 九段

- 糟糠ノ妻ハ不可下堂等ノ事
- 古人ノ交ヲ結ハ惟心ヲ結ト云ノ事
- 士ハ良友ナケレバ行歩ノ不知辯論事
- 交ハ我直ナルヲ以テ應スベキ事
- 善人ト交者ノ事
- 朋友ハ互ニ相下テ可敬事
- 古人曰近朱者赤等ノ事
- 智者ト同行スルハ霧露ノ内ヲ行カ如等ノ事

善人ト居スル時ハ芝蘭ノ室ニ入ルガ如等ノ事
卷之四

第一 賭博章 五段

○青樓翠館ノ遊ノ事

○人有二好即有二累而賭為其一事

○凡遊ニ以錢賭ニスル事

○賭ヲ好人先思輸其念自息等ノ事

○賭嫖ノ一ツハ心ニ戒ヘキ事

第二 事業章 六段

○創業守成ノ二者皆非易事ノ事

○人生不論貴賤一日有一日合作之事事

○事在人為而成之者天ノ事

○朱門生餓殍白屋出公卿ト云事

○世間事業都從困苦中創出來ノ事

○喫一日飯一日ノ飯錢ヲ賺出スヲ計ベキ事

第三 經營章 五段

○百錢三處放之說ノ事

○出外者早進車馬水路舟楫俱要知保身之道事

○人旅宿ニアル時勿誇心ノ事

○朋友ニ銀ヲ借時假ニ借主ヲ稱ル誤ノ事

○大ニ富商人ニ代相續ハ少事

第四 戒殺章 二段

○葷ヲ絶魚鳥ヲ吃スル等ノ事

○戒殺シテ他ノ饗應ニハ饒餒ヲ食悦ノ事

第五 報施章

八段

○天報可畏ト云事

○一人ナリテ飢餓ノ者ヲ救ハ佛必悦事

○傲慢之人驟得通顯天將重刑之等ノ事

○倭人人ヲ怨テ家人ニ暗討サスル報ノ事

○人ノ妻ヲ犯ス報ノ事

○屢有愚人己ガ誕生スル子ヲ水中ニ投スル事

○人有二事不_レ妥_レ後來必受_レ此事之累事

○王孫_一飯報以千金等ノ事

第六 惜字章

三段

○字乃天地間之至寶ナル事

○字紙ヲ惜テ福ヲ得タル事

○字紙ヲ惜テ報ヲ得シ人ノ事

第七 防患章

六段

○酒ハ不顧身色ハ不顧病等ノ事

○命富貴ニ應スル人ト貧賤ニ應スル人トノ事

○人之一生雖云命定而命由心造ノ事

○少年ニ立身スル者ハ必不久ト云説ノ事

○草野之夫不可_レ妄議政治ノ事

○安則忘危必多_レ僨事ノ事

第八 訟事事

二段

○小忿不忍以至興訟ノ事

○勸人息訟者君子ナリノ事

第九 火燭章

三段

○水火ハ無情ノ物ナレバ不可忽等ノ事

○桐油雨傘油紙油篋ノ類收ニ可留心事

○滅火水鏡ノ拵ノ事

第十 飲食章

四段

○河鮑魚ヲ食スル事

○酒ハ合歡然有限好トスル事

○酒ハ能傷人ノ事

○酒宴ノ座ニテ忌ヲ數條ヲ事

第十一 輕生章

二段

○痴人愚女一旦有不稱心自害スル事

○古今利欲ノ心深人ハ不顧危誤ノ事

第十二 婦道章

一段

○婦人女子ニ從四徳ヲ明者ナキ事

○忠臣孝子ト貞女節婦トハ難有ト云事

○卷之五

第一 占風章

○常瞬息間暴風猝至前後三百ノ内ヲ考事

第二 典物章

○典範二入事

第三 立教章

五段

○治國ハ如彈琴ト云事

○忠臣ハ不事二君等ノ事

○古靈陳先生民ニ教玉ノ事

○一生ノ計ハ勤ニ在ト云事

○爲政要ハ公ト清トニ在ト云等ノ事

第四 省心章

六十三段

○若服一縷可憶其勞ト云等ノ事

○積財不如教子等ノ事

○人窮スル時ハ詠等ノ事

○古人曰終身讓路未枉百步等ノ事

○善事ハ易做無心不能做等ノ事

○清貧ハ常ニ樂濁貧ハ多憂等ノ事

○良田萬頃一藝不如在身

○日月雖明不照覆盆下等ノ事

○遠水ハ不能救近火等ノ事

○金玉ハ飽タル時食不能スト云等ノ事

○智者ハ不欲滿ト云事

○六親不和不有慈孝等ノ事

○禍ハ自不慎生スル等ノ事

○自侮人故亦侮之等ノ事

○位貴則必先可防危等ノ事

○德微而位貴等ノ事

○凡德ノ由テ顯ル者ハ忠ト孝トノ事

○君子致其道福祿存スト云事

○巧者ハ勞シ拙者ハ逸スト云事

○國ノ興敗家ノ盛衰ノ事

○君子高則自下益讓等ノ事

○君子修身而樂道德等ノ事

○公心若如私心何事不辨等ノ事

○平生不虧心事

○言無謊每言不差等ノ事

○忠臣ハ爲君殺身ト云事

○君子ハ居貧能樂等ノ事

○無故得千金ノ事

○人間一切如夢幻等ノ事

○古今得天下以仁等ノ事

○國正ケレバ天順等ノ事

○人ノ心ハ滿カタキ等ノ事

○德業相勸過失相規禮俗相成等ノ事

○知不爲不知不知等ノ事

○春雨ハ行人惡秋月ハ爲盜者憎事

○輕諾者ハ信必寡等ノ事

- 自愛者不能成人等ノ事
- 君子三ノ思アリト云事
- 家貧而顯孝子世亂而識忠臣等ノ事
- 福縁善慶ハ多ハ因積善生等ノ事
- 遠非道財可戒過度酒等ノ事
- 知危識險終無縲紲之辱等ノ事
- 財ハ圖得テ外ニ在オハ學得テ内ニ在ノ事
- 爲非道圖利多ハ起貧等ノ事
- 徒坐而勿言無妨等ノ事
- 大富時ハ驕大貧時ハ憂等ノ事
- 凡人家一旦無常萬事休スト云事

- 治國不用佞臣治家不用佞婦等ノ事
- 拜佛敬佛德念佛感佛恩等ノ事
- 利與人不可獨得謀不可與等ノ事
- 黄金千兩未貴人之一言貴トスル等ノ事
- 以勢交者ハ近易等ノ事
- 得道者助多等ノ事
- 人貧ケレバ智短福至バ心靈ナリ等ノ事
- 財ハ君子ノ所輕ト云事
- 禮ハ防君子律ハ防小人ト云事
- 禮義ハ富足ヨリ生ズル等ノ事
- 毋結冤冤深難解其冤等ノ事

- 人心ハ難料等ノ事
- 安ト云凡不可念危等ノ事
- 自疑ハ不信人等ノ事
- 人有所養志氣大見識明ト云事
- 過去ノ事ハ鏡ヨリモ明ナリ等ノ事

第五 安義章

五段

- 知恩報恩義士ナリノ事
- 富時不親貧時不疎真ノ大丈夫ナリノ事
- 兄弟ハ如手足夫婦ハ如衣服等ノ事
- 夫婦ハ以義親トスル等ノ事
- 有人民後有夫婦等ノ事

第六 治家章

七段

- 凡爲家主入ハ必守禮法可治諸眷族等ノ事
- 婚姻ニ財ヲ論ズルハ鄙夷ノ道ト云事
- 嫁女ニハ我家ヨリモ貴家ヲ擇ベキ等ノ事
- 結婚婚姻先婚ト懇ト合性並家法ヲ可聽事
- 癡人ハ畏妻賢女ハ敬夫事
- 人常儉則終身不貧等ノ事
- 一日ノ謀ハ在寅一年ノ謀ハ在春等ノ事

第七 敬神章

二十三段

- 神當敬不宜誹事
- 凡慢神棄天踐踏字紙五穀之人必有禍事

○觀音地藏ヲ土ニテ作。賣テ小兒玩器トスル事

○夏佛神ニ參詣ヲ致人ノ事

○佛神ヲ跡ニシテ不可臥事

○平生不敬佛神人等ノ事

○不運ノ人モ佛神ヲ禱立身ヲ圖ベキ事

○凡有學才人ハ負才不拜佛神事

○立身ヲ圖ハ神佛ヲ禱仁ヲ行ベキ等ノ事

○凡人ノ一生避ナキハ少ナリト云事

○若禱神正直ノ心ヲ以テ禱ベント云等ノ事

○平生拜神事

○福ヲ求テ反テ怨神等ノ事

○神廟ニ參詣スル時ハ心身ヲ清淨スベキ事

○神ヲ祭ニ禽獸ヲ供テナカレノ事

○廟前ヲ通バ笠ヲ掛テ可禮事

○廟前ニ在テ小便スルノカレ等ノ事

○欲拜佛神此ノ所可加慎等ノ事

○神ハ甚穢ヲ嫌玉フ事

○心中ニ有望人ハ必可禱神等ノ事

○平生敬佛神人ハ免禍事

○佛神聖賢ノ像ニ禮拜ヲナス事

○平生爲惡人拜神時ハ避テ拜ヲ不受事

○李去歲誤人我前得八張我我之不
 ○佛神聖...
 ○平...
 ○...
 ○...
 ○...
 ○...
 ○...
 ○...
 ○...
 ○...

增補廣類願體俚諺鈔後編卷一目

第一	積善章	初葉	十五段
第二	世情章	四葉	十七段
第三	禮節章	七葉	十二段
第四	節儉章	十葉	十三段
第五	待人章	十四葉	二十二段
第六	制佗章	十八葉	二段
第七	知足歌	十九葉	

第一	積善章	十五葉
第二	...	十八葉
第三	...	二十四葉
第四	...	二十二葉
第五	...	十三葉
第六	...	十二葉
第七	...	十五葉

增補廣類願體俚諺鈔卷一 後編

平山史典摺臣氏編輯 天都汪瑞齡虞輯

陽羨蔣岳子登氏增纂 吳門 仲元熹公菴 參閱

薛 鈞鴻生

神邦 洛下隱士毛利貞齋 解

第一 積善章

○現在ノ福ハ先祖ノ積シ所ゴレヲ惜ズンバアルベカラ
ユクサキ 不。將來ノ福子孫ニ貽者コレヲ培スンバアルベカラス現
トホシ 在ノ福ハ燈ヲ點スカ如シ。點スニ隨テ則竭將來ノ福
トホシ ハ。油ヲ添ルガ如シ。愈添レバ愈點ル
トホシ ○橋ヲ修シ路ヲ修スルニ遇時ハ已カ加量ニ依テ貴

ヲ出スベシ。若シ然ラスンバ。我此ヲ避ル毎ニ心安穩ナ
ルニシ。此ヲ出シテ。路ヲ修シ。橋ヲ修スルヲ助ルモ。亦
人義舉ナリ。然ラスンバ。二國ニ限テ。其來ノ
善ヲナスハ。豈好事ニアラスヤ。然レモ名ヲ好人心
有テ。偽テ善ヲナサバ。即謗ヲ招キ。禍ヲ招ク道理ナリ
○昔テ人ノ爲ニ眼前ノ報應ヲ説。又昔テ人ノ説報應
ヲ聞。又昔テ驢アル藥方ヲ抄シ。コレヲ諸人ニ施スモ。大
ナル善事ナリ

○君子ハ能人ノ危ヲ扶。人ノ急ヲ救フ。固ニ是善事ナ
リ。若シ自ラ之ニ誇スンバ。愈大善事ナリ
○古人ハ交ヲ絶ニ。惡聲ヲ出ス。妻ヲ棄ニ。其過ヲ彰ス。

國ヲ去ニハ。微罪ヲ以テシテ行惡トコロニ於テハ。尚
如此。厚道ヲ失サルヲ見テ。其親ム所ニ於テハ。嘯ト知
ルベシ

○人ヲシテ。敢テ怒ラシメテ。敢テ言シメサル如キ者ハ。
優陰徳ヲ損處ニシテ。每事皆如此。是口カ權威ヲ振
尤甚シ

○今時ノ富貴ノ人。終日端坐シテ。略勞事ナク。總テ驕
ノ餘リ。未タ飢カルニ飯ヲ吃シ。未タ冷ラサルニ衣ヲ添ヘ。
酒ヲ飲肉ヲ吃シ。奴ヲ呼。婢ヲ使ヒ。居スルニ華堂アリ
出ルニハ。舟輿アリ。事々如意ナラスト云フナシ。此ヲ以
テ。善ヲナサストス。尚且怒ルマシキ事ヲ怒リ。動スレバ

其氣烈如火ノ如クニシテ。自ラ罪ヲ造ル。豈コレヲ恐レザ
ランヤ。若人此事ヲ念テ。自ラ心ヲ改ムル時ハ。自然
トシテ。大善ノ場ニモ至ルベシ

○凡ソ兒ヲ賣。女ヲ鬻。モノニ遇バ。粥ヲ施シ。襖ヲ施シ。茶
ヲ施シ。藥ヲ施シ。棺ヲ施スベキ体ニ及ンテ。若獨力ニカ
ナハスンバ。衆人ノカヲ募。求メテ行バ。此眼前功德ヲ見

○人貧賤ノ時ニ當テ。善ヲ爲モ。善ニ限アリ。惡ヲ爲モ
惡ニモ亦限アリ。善惡共ニ大ニ爲ニ。其力オケレバナリ
一タヒ富貴トナレル時ニ當テ。善ヲ爲ニ。善ニ量ナシ。惡
ヲ爲ニ。惡ニモ亦窮ナシ。善惡共ニ爲ニ。其具アレハナ
リ故ニ富貴ハ乃禍福ヲ成敗スルノ大關ナリ。慎マヌンバ

アルベカラズ

○事々、元氣ヲ瘳スル時ハ。其人必壽シ。念々本心
ヲ存スル時ハ。其人必昌ベシ

○急難人ヲ濟バ。一善百善ニ當ルベシ。坦夷ニ世ニ應
セバ。一心萬心ニ孚ナルベシ

○徑路窄處ヲ過ル時ハ。須ク一步ヲ讓テ。先人ヲ通ス
ベシ。滋味濃酌ノ物ハ。須ク三分ヲ留テ。人ト與ニ食ヘシ

○人ノ頼テ。生命ヲ送者ハ。惟錢財ナリ。若錢財ノ上
ニ於テ。少寛ニ人ヲ待シ。少シ寛ニ人ヲ濟時ハ。未タ福
見ヘスト云フ凡。禍自ラ滅スベシ。若一味二人ヲ剝取
ル如クニスル者ハ。後必ス禍至テ。家ヲ亾スベシ

○人持齋誦經ヲ以テ。善ヲ行フトス。是功德止禽獸ニ及ンテ。民生ニ及ハズ。此善ノ微ナル者ナリ。人他ノ困窮ヲ濟。他ノ危ヲ扶ルヲ善ヲ行フトス。是功德能民生ニ及テ。旁禽獸ニ及ズ。此善ノ廣キ者ナリ。其位ニ居スルヲ得テ。國人ノ爲ニ。大利ヲ興サズ。大害ヲ革メズンバ。惡ヲ作者ト何ゾ異ナラン

第二 世情章

○夫世ハ猶水也。身ハ猶舟也。水能舟ヲ行。亦能舟ヲ覆ス。才ハ則舟ノ帆ナリ。學ハ則舟ノ楫ナリ。帆ハ待ナリ。楫ハ待ナキ者ナリ。志ハ猶ヲ舵ノゴトシ。運ハ猶風ノゴトシ。楫ハ遲シトイヘ。無風シテ達スベシ。帆ハ捷

トイヘ。舵ニアラサレバ。則危シ

○破損ノ物ハ。以テ久ク用ラルベシ。庭羸ノ人ハ以テ年ヲ長スベシ。是恃トコロ無ヲ以テナリ。間官冷職ハ多ハ老成ヲ致ス。敝宅瘠田ハ每ニ能後代ニ傳フ。是等トコロ無ヲ以テナリ

○富貴ニ處スル人ハ。世ノ艱難ヲ知ラス。貧賤ニ處スル人ハ。世ノ安樂ヲ知ラス。是皆己カ身ニ痛癢ヲ受サル故ナリ

○名ヲ成ハ。毎ニ窮苦ノ日ニアリ。事ヲ敗ルハ。多ク得意ノ時ニ因ル

○功ヲ建。業ヲ立ルハ。多ク稔平ノ士ニアリ。事ヲ敗リ。

機ヲ失ハ。必ス執^シ初ノ人ニアリ

○冷^レ煖^クノ二ツ定^ミリナシ。驟^シ煖^ク絛^シ衣^ヲヲ棄^ルル^トナカレ。貴

賤^ノ二ツ何^ノ常^アラン。驟^シ貴^ク故^友ヲ擲^ルル^トナカレ

○未^タ富^スシテ。先^ッ富^ル如^クニスル者ハ。必^ス富^ス未^タ貧^シ

カラズシテ。先^ッ貧^キ如^クニスル者ハ。必^ス貧^カラズ

○足^レヲ求^メバ。何^レノ時^カ能^ク足^レシ。足^レヲ知^レバ。優^ク足^ル

ナリ。聞^クヲ徼^ハ。何^レノ日^カ能^ク聞^クナラン。聞^クヲ儉^ハ。優^ク聞^ク

アリ

○人^ノ利^ノ事^ハ。我^レ爲^スナカレ。衆^ノ争^ノ地^ハ。我^レ生^スル^トナ

カレ。物^極バ必^ス害^ヲ將^ニ及^バントス

○利^ハ人^ト共^ニシテ。我^レ獨^リ受^ベカラズ。獨^リ利^ヲ受^ル時^ハ

即^チ敗^ル。謀^ハ人^ト共^ニセシテ。我^レ獨^リ行^フベシ。衆^ニ謀^ラ

知^ラシムル時^ハ。即^チ泄^ル

○人^ヲ辱^シムル^ト甚^キ時^ハ。反^テ我^レヲ辱^ラル。人^ヲ傷^フ

ト甚^キ時^ハ。反^テ我^レヲ傷^ハル

○貧^賤勤^儉ヲ生^ス。勤^儉富^貴ヲ生^ス。富^貴驕^奢ヲ生^ス。

驕^奢淫^佚ヲ生^ス。淫^佚復^貧賤^ヲ生^ス。是^乃チ循環^ノ

ノ道理^{ナリ}

○人^ノ禍^患ハ。皆^多事^ヲ好^ム所^{ヨリ}生^ス。但^位高^ク金^多

者^ヲ見^テハ。未^タ嘗^{ヨリ}之^ト交^ルヲ願^ハス。バアラス。

勢^崇權^重者^ヲ見^テハ。未^タ嘗^{ヨリ}之^ト接^ハル^トヲ願^ハス。

ハス。バアラス。而^モ一^交一^接人間^ノ禍^患常^ニ此^ニ由^テ

基スルヲ知ラス。家ヲ保タツテ善スル者ハ宜ク清淨ニ事ヲ省察スルヲ以テ本トスベシ。分ヲ安シンジ。已レテ守ルテ事トス。况ヤ窮通命アリ。越テニ紛々トテ事トセバ。何ゾ益アラシヤ

○世間惟財ト色ト。能人ノ精氣ヲ耗シ。人ノ死亡ヲ速ク。而方士ノ言曰。金銀點化シテ。以テ世ヲ濟スベシ。少女採補シテ以テ長生スベシ。既ニ嗜慾ヲ快シセバ。又超昇ヲ得シ。何レゾ憚リテ爲サルヤ。但實理ヲ以テ之ヲ揆ルハ。恐バ此レ便キ且キノ事ナカラシ。故敢テ信スセス

○凡ソ人順境ニ處スル者ト。逆境ニ處スル者アリ。順境ニ處スル者ハ。諸事順ナリ。逆境ニ處スル者ハ。諸事逆

ナリ。故ニ順境ニ處スル人ハ。諸人ノ爲ニ敬スル。逆境ニ處スル人ハ。諸人ノ爲ニ惡スル。譬ハ酒宴ヲ設テ。順境ニ處スル人ヲ邀ル時。此人若ク早ク來レハ。亭主反テ太ク悅シ。其早ク來レルヲ謝ス。若ク遲ク來ル時ハ。定メテ脱カタキ事アリテ。遲ク來ルハ。カト了シ簡ス。逆境ニ處スル人ヲ邀ル時ハ。此人若ク早ク來レハ。亭主反テ悅ス。其早ク來レルヲ嫌フ。若ク遲ク來ル時ハ。定メテ晝ニ寢シテ。遲ク來レルナラント責リ罵ル。順境ノ人長坐スル時ハ。亭主益ク悅シンテ。酒ヲ換ヘ肴ヲ添ル。逆境ノ人長坐スル時ハ。亭主始テ疲レ。我醉テ眠シ。君且カ回リ玉ヘ杯ヲ云テ之ヲ逐ル。誠ニ順境ト逆境ノ差カ。豈ニ唯ニ雲泥ノ三ナラシヤ

○循環スルハ天理ナリ。故ニ君子ハ安ヲ履テ。危キヲ思フ。反覆スルハ人心ナリ。故ニ小人ハ險ヲ行テ。幸ヲ求メ。貧賤ノ人求ナシト云ヘ。富貴ノ人ニ見ル時ハ富貴ノ人必ス之ヲ嫌フ。人ニ嫌レテ。亦何ノ益カアラン。寧始ヨリ見ヘサルニ如ハナシ

第三 禮節章

○禮節ハ虚文ニ属ストイヘ。人トシテ之ヲ習熟セズンバアルベカラス。禮節ヲ曉ス人ハ人ニ逢時其禮ヲ行フ座ニ坐スル時。其禮ヲ行フ。禮節ヲ曉サル人ハ人ニ逢トキ其禮ヲ行ハズ。座ニ坐スル時。其禮ヲ行ズ。因テ謝ラ受。又一卷ノ書ヲモ讀シ者。禮節厚カラサル者アリ。

是ハ知テ行ハル者ナリ。空ク勉ベシ

○物ヲ送ルハ。儀文ニ属ストイヘ。人情ノ上免レサル所ニアリ。但其送ル所ノ物。人ノ用ニ立ベキ物ヲ送ルベシ。今時ノ世俗勸スレハ。魚鳥ノ類ヲ送ル。若喜ノ事ニ遇テ。此ノ如キ物ヲ送ルハ。大ニ不可ナリ。喜ノ事アル家ニハ。諸方ヨリ此類ヲ送テ。庭厨ニ充滿ス。豈能一時ニ用盡サンヤ。冬ノ時分ニハ。尙苦シカラスト云ヘ。夏ノ時分ニハ送ル所ノ魚鳥未ダ時ヲ移サルニ早ヤ損シテ。臭氣アリ。送ル人ハ財ヲ費シ。受人ハ畢竟益ナシ。夏ノ時分ニハ。紙筆墨扇茶紗羅葛布等ノ類ヲ送ルヘシ。冬ノ時分ニハ。毛氈頭巾爐香書画各濟等ノ類ヲ送ル

べし。送物ノ輕重ハ。其品許多ナリ。只用ニ立ヘキ物ヲ
送ルヲ以テ。益アリトス。受ル人モ。尤コレヲ悦ブ。須ク人
々意ヲ留ムベシ

○慇懃モ過テ行フ者ハ。必ス詐アリ。言語モ過テ云者
ハ必ス謊アリ

○富貴ノ人。貧賤ノ人ノ禮物ヲ受ルハ。只尋常ノ事トシテ。
變ニ其費ヲ致シテ送來ルヲ知ラス。尤速ニ返禮ヲ厚
スベシ

○過テ恭キ者ハ。後必ス薄シ。回ニ諛者ハ。背ニテ必ス諛
○酒宴ニ赴ハ。太夕遅往ナカレ。諸ノ客都テ至レルニ
我獨至ラサル時ハ。只亭主ノ主厭ニアラス。一座ノ賓客

皆一同ニコレヲ厭若。俄ニ據ナキ事出來シテ。往テ能
ハズンバ速ニ使ヲ馳テ。辞スベシ。人ヲシテ。徒ニ待シムル
ナカレ

○今時ノ人。父母歿セシ時。人ノ弔ヲ受ト云ヘ。凡曾テコ
レヲ謝セス。是唯無禮ノミニアラス。尤且不孝ナリ。昔
人ノ郡侯。郡ヲ守テ在シ時。故郷ヨリ訃音到來セリ。
黎民コレヲ聞テ。盡ク來テ弔ヲ叙ケルニ。郡侯斷七日過
テ後。自ラ城外ニ出テ。諸ノ民ヲ謝シ。至ヘリ。郡侯父ニ尙
且此ノ如シ。况ヤ士庶人。人ノ弔ヲ受テ。之ヲ謝セサルハ。
大ナル過ナリ。富世ノ人多クハ。已カ富貴ニ傲リ。人ヲ輕
ク視テ。禮ヲ失者。少カラス。是豈人ノ子ノ道ナランヤ

○禮物ヲ相送ルト云フ也。已カ分量ニ依テ。過ナル如クニ送ルベシ。今時ノ人其心驕。人ニ物ヲ送ルニハ。必ズ過分ヲ以テ宜シトス。心アル人ハ。送物ノ多キヲ見テ。受ニ忍ズ。是尙ユヘナレバ。常ニ其人ノ分量ヲ知リシニ因リ。過分ノ送物ヲ嫌送ル人モ。一時ノ興ニ乘シ。先其物ヲ賒テ。已ニ送ヌト云ヘ也。他日其價ヲ乞ル。時ハ身ニ於テ甚々苦ム。物ヲ送ルハ。只人情ノ爲ノミ。何ゾ儼ニ多トヲ論セシヤ

○男女相見ルハ。近キ親族ノミナルニ。今時ノ世俗ハ。親族外族ヲ論セス。擅ニ内室ニ入り。或ハ男女坐ヲ同シテ談話シ。或ハ男女坐ヲ對シテ。飲宴ス。因テ儘多ク禮ヲ亂ス。總ニ親族タリ也。未ダ報知セスシテ。直ニ内室ニ入ル。ナカレ。若シ室中ノ女粧正シカラサル處ニ往掛ラバ。互ニ無興ナルベシ

○今時人幸ニ富貴ニ處シ。貧賤ノ親類ヲ見テハ。外族ノ如クニス。近キ親族死セシ時ハ。服ヲモ著シテ。弔ベキ處ニ。反テ紅纓彩衣ヲ著シ。外族ト共ニ來テ。ヨソクシク弔。由來ヲ知リシ人。コレヲ看テハ。嘆息ニ勝サルナリ。道ヲ知り。義ヲ知ル人ハ。豈敢テ如此セシヤ

○禮節ハ恭敬ニ出。凡人内ニ恭敬ノ心アレバ。外ニ禮節ノ文アリ。人若禮節ヲ虛文トシテ之ヲ略セハ。恭敬ノ心安ゾ在シヤ

○禮ハ冠婚喪祭ノ四ツヲ以テ主トス。冠禮ハ世人久
棄テ之ヲ問ス。此餘三ノ者ハ。文公ノ家禮ヲ以テ尚
トス。尤コレヲ行ニ越トキハ。僭ニ近シ。省トキハ。慢ニ
近シ。均ハ禮ニアラス。

第四 節儉章

○儉ハ美德ナリト云ヘ。太儉ナルトキハ。慳ニ近シ。
自ラ處スル所ノ地ヲ度リ。不盡ノ意ヲ留メ。以テ福ヲ
養ハ可ナラン。慳吝太シキ時ハ。俗惡ノ態ヲ免レズシテ
人ノ爲ニ鄙ラルベシ。

○衣服冠履ノ飾。太々人ニ興ナルトナカレ。又太々時ニ
趨ルトナカレ。且器用ハ必シモ精良ヲ求。飲食ハ必シ

モ異巧ヲ求ル如キ者。是乃清中ノ濁。清事ノ蠹。亦費
ノ基。未タ宜シトスルニ足ス。

○書畫古物ヲ用ルハ。興ヲ得ン爲。花木禽魚ヲ養ハ。情
ヲ得ンカ爲。若夫心機ヲ設。費ヲ顧ス。一味ニ之ヲ求
ルハ。反テ宜カラス。今時ノ人。多クハ此等ノ事ニ。金銀
ヲ費シ。貧ノ基トナルナリ。

○太々鄙吝ナルハ。只家ヲナスコトノ三知テ。人ヲナスコ
ヲ知ラス。過テ奢率ナルハ。只人ヲナスコトノ三知テ。家ヲ
ノスコトヲ知ラス。此二ツノ者。共ニ是不順ナリ。

○家ニ居スルノ疾。飲食土木。爭訟。玩好。惰慢五ツノ者
ノ三。此内一ツモアレハ。皆能家ヲ破ル。其次ハ貧薄ニシテ

周旋ヲ務メ。豊餘ニシテ。鄙吝ヲ尚フ。事同シカラスト
 イヘ。其後日ノ害。或ハ異ナルヲナシ。但遲速ノ間ニ在
 ノ。夫豊餘ニシテ用サル者ハ害ナキカ。若ナレ。然レ。既
 已既ニ豊餘ナル時ハ。他人ヲ周濟シ。テ望ム。今憚ンデ
 濟カル時ハ。必ズ人ノ情ヲ失フ。既二人ノ情ヲ失フ時ハ。
 人冷眼ニテ之ヲ視ル。惟其隙ナカン。テ恐ル。苟隙ア
 リテ乘スベキ時ハ。争テ之ニ襲ス。其子孫トイヘ。亦意
 ニ満足セサル。多ケレバ。一朝事アレバ。隄ヲ決。防ヲ破ル
 ガ如ク。怨ヲ報シ。葉ヲナス。

○婚姻ノ事ノ如キ。嫁スモ。娶モ。兩家各己ガ加量ヲ
 度テ。諸事ヲ調。何ゾ必シモ威勢富貴ヲ争ハンヤ。然レ

凡今時ノ世俗多クハ婚姻ノ事ニ。寶ヲ費ス。女兒ヲ嫁
 出セシムト云フ。凡相應ニ調ベキ事ナルニ。有カ上ニ美
 フ盡シ。諸事過分ニ粧フ。是尤不可ナリ。婚若老成ノ
 者ナラハ。能家ヲ做シテ。始終安穩ナルベケレ。凡婚若
 撒淡ノ者ナラハ。頓テ媳カ道具ヲ賣拂。終ニハ空身ニ
 シテ。媳ヲ追回ス。アラン。古人モ之ヲ嘆シテ。一咏アリ。
 婚姻幾見聞。奢華金屋銀屏衆口誇。轉眼十年人事變。粧
 奩賤價賣人家。此詩尤其意深シ。宜ク此詩ヲ見テ。自ラ
 省悟スベシ。

○古ノ人ハ三年耕シテ。一年ノ食ヲ餘シ。九年耕シテ
 三年ノ食ヲ餘シ。以テ凶年ノ備トス。若幸ニ行續テ

豊年ナル時ハ。家道益隆ニシテ。子々孫々。コレヲ受用ス。當世ノ人ハ。豊年ノ時モ。曾テ其食ヲ餘ス。其年限ニ使盡ス故。一タビ凶年ニ遇トキハ。忽キ餓ニ及ビ。妻子ヲモ諸方ニ賣遣シ。眷族散ル。ニ流浪シ。落魄獨農人ノ三限ス。商人工人モ亦如此。常ニ後日ノ意ヲ慮テ。亂ニ錢財ヲ費ス。分量相應ニ貯ヲナス時ハ。後日ノ急ヲ免ルナリ。今時ノ人ハ。只驕ヲ專トシテ。過分ノ費ヲチヌヘ。反テ他ノ金ヲ借リ。自ヲ貧苦ヲ求ム。此上ニモ若後日禍患出來セバ。愈艱苦ニ逼リ。滅亡ヲ待ノミナラン。須ク後日ノ事ヲ慮テ。預覺悟スベシ。

○當世ノ人家ヲ造ルニ太々美ヲ盡ス。譬ハ千兩ノ金

アル人ハ。八百兩ヲ以テ家ヲ造リ。僅ニ百兩ヲ殘シテ。商賣ノ本錢トス。子孫愚ニシテ本錢ヲ失ヒ。居室ヲモ賣拂如キ者ハ。八百兩ヲ以テ造リシ家。未タ二百兩ヲ得サルナリ。昔日黎博菴先生ト云人ノ別墅ヲ牛屋ト名ケヌ。材木ハ皮ヲ去スシテ用ヒ。牆ハ皆乱石ヲ以テ築ケレ。門ニ俗客ナク。座ニ高人アルユヘ。未ダ屋ノ鄙ヲ以テ。亭主ノ名ヲ下サス。總テ達人君子ハ先身ヲ潤シテ。而メ後ニ屋ヲ潤ス。何ゾ唯屋ノ三美麗ニ造テ。其佳觀ヲ備シヤ。縱ヒ金銀珠玉ヲ鏤シ屋タリトモ。一旦火災ニ遇時ハ。只灰ノ三殘ルベシ。

○諸人皆曰。北方ハ風土厚シ。故ニ其富貴ヲ保フモ亦

久シ。南方ハ風土薄シ。故ニ其富貴ヲ保_ルモ亦暫ナリ
ト云フ。是大ニ然ラス。富貴ノ久暫ハ其人ノ奢儉ニ在
テ。風土ノ厚薄ニ在ス。北方ノ人ハ天然儉約ニシテ。費
ヲ省南方ノ人ハ天然驕奢ニシテ。費ヲ大ニス。故ニ同
ジカラサル所アリ。然レ北_方ニモ亦驕奢ノ者モアリ。
南方ニモ亦儉約ノ者モアリ。畢竟驕奢ナル時ハ家ヲ
喪フ。儉約ナル時ハ家ヲ起ス。何ゾ唯方ノ三ヲ論センヤ。
富貴ヲ久ク保ント欲セハ。必ス儉約ヲ守ルベシ。若シ驕
奢ナラバ。久シカラスシテ。家ヲ敗ルベシ。強ニ風土ノ厚薄
ヲ擇_ルナカレ

○成敗興衰ハ固ニ氣數ニ關ル。親業ヲ立テ。子ニ傳ル。

子コレヲ敗ル。此ノ如キハ。氣數極テ利ヲ失者多シ。又
驕奢ニシテ。敗ヲ致ス者モ少カラス。驕奢ナルハノ
儉約ナルヲ見テハ。却テ之ヲ笑フ。是甚タ不可ナリ。
只今日ノ上ニシテ。心ニ稱意ヲ快シ。譽ヲ求メ。名ヲ活如
キ者。金ヲ揮_ル一砂ノ如シ。偏ニ老來ノ拮据。身後ノ艱
難ヲ知ラス。願クハ此ノ如キ人ヲ諫テ。其心ヲ改シメ。
他日ノ飢寒ヲ免シ。メン_トヲ欲スルナリ

○先祖ノ富貴ハ。詩書ノ中ヨリ來ル。子孫富貴ヲ享ル
時ハ。詩書ヲ棄ル。先祖ノ家業ハ勤儉ノ中ヨリ來ル。子
孫家業ヲ享ル時ハ。勤儉ヲ棄ル。是乃家衰フル基ナリ
慎ヘシ慎ベシ

○貧富ハ勤儉ノ二字ニ關ル。勤ハ役々トシテ。利ヲ爲ニアラス。惟カヲ竭シテ。管ヲナスヲ云フ。儉ハ鄙吝ニシテ。財ヲ圖ルニアラス。惟入ヲ量テ。出ヲナスヲ云フ。○富貴ハ必ス驕奢ニ淪ム。驕奢ハ必ス貧賤ニ至ル。貧賤ハ必ス儉節ニ進ル。儉節ハ必ス復富貴ヲ致ス。是乃千輪廻自然ノ道理ナリ。人若貧賤ノ時儉節ヲ致シテ富貴ヲ得ルノ理ヲ曉シ。富貴ノ時儉節ヲ致ハ。其繁榮量ルベカラス。

第五 待人章

○人ノ貧ヲ濟者。其貧ノ所以ヲ問ベカラス。若僧要ノ心生セバ。惻隱ノ心泯シ。人ノ善ヲ慕者。其善ノ所

以ヲ問ベカラス。若擬議ノ念起ハ。效法ノ念微ナラン。○人我ニ負ヲ以テ。善ヲ爲ノ心ヲ躡スベカラス。其徳ヲ施スハ。唯吾心ノ忍サル所ヲ行ノニ。未ダ會テ報ヲ責ス。縱兇惡ノ輩ニ遇テ。無禮ヲ見ル凡。須ク之ヲ怨スシテ。只一笑ヲ付スベシ。

○富貴ノ家ニハ。必ス貧賤ノ親友出入ス。是ヲ戲スシテ。躬ヲ衣服等ヲ惠時ハ。其人悅テ。其徳ヲ稱ス。此ノ如ク陰徳ヲ行トキハ。富貴ヲ保ト長久ナリ。

○富貴ノ人ヲ待スルニハ。禮アルト難カラズ。體アルト難。貧賤ノ人ヲ待スルニハ。恩アルト難カラズ。禮アルト難。○凡ノ情不盡ノ意ヲ留ル時ハ。味深シ。凡ソ興不盡ノ

意ヲ留ル時ハ。趨多シ。或ハ奸詐ノ人種々偽ヲ以テ。我ニ向フ。凡我コレヲ度ルベカラス。我一味ニ誠ヲ以テ。彼ヲ待セバ。彼カ術自ラ窮ラン

○排難解紛。實行門中ノ第一義ナリ。若能言語ヲ以テ。人ノ骨肉ヲ和セシメ。人ノ爭論スルヲ見テ。又好言ヲ以テ之ヲ諫。遂ニ和睦ヲ調シメバ。是大ナル好事。其福量リナカルベシ

○善人ハ固ニ親ムベシ。然レ凡未タ近ク。能スニハ急ニ合ベカラス。惡人ハ固ニ疎スベシ。然レ凡未タ遠クル。能スニハ急ニ去ベカラス

○骨肉ノ貧者ハ疎スル。ナカレ。他人ノ富貴ハ厚スル。ナカレ。一切ノ送物須ク常度アルベシ。富貴ノ人ニハ。禮物ヲ厚送り。貧賤ノ人ニハ。禮物ヲ薄ク送ル如キ。禮ニ於テ。不可ナリ

○執拗ノ徒。逆事ヲナス時ハ。吾心何ソ安ラン。狼心ノ徒。吾心何ソ忍ン

○已トヲ得ズシテ。不義ノ人ト。一處ニ住スル時ハ。外ハ吾心ヲ和シ。内ハ吾心ヲ平ニセ。始終禍ヲ免ヘシ

○志同シカラサル人ト。強テ交ルベカラス。凡強テナス事ハ。必ス久シカラズシテ。變アルナリ

○自ラ謙ルトキハ。人愈服ス。自ラ誇ルトキハ。人必ズ疑ス。我恭ケレバ。方二人ノ怒ヲ平ニス。我貪レハ。必ズ

人ノ争ヲ啓ニ至ル。是皆我ニ存スル者ナリ

○若親友ノ内ニ短氣ノ人アラハ。預メコレヲ諫テ。其心ヲ鎮定スベシ。若然ラスンバ。所傷必ス大ナラン

○人々ヲ罵ルト有テ。人答サル者ハ。必ス容ス所アリ。我ヲ畏ルトシテ。甚辱ムルトナカレ。若其人忍ニ勝スレテ。怒ヲ起シ。死ヲ捨テ。我ニ向バ。何ヲ以テ當ンヤ

○人ノ世ニ在。多事ヲ好ムベカラス。然レ。凡親類朋友ノ間ニ大事出來シ。之ヲ我ニ頼トキハ。肯テ頼レテカヲ盡スベシ。是義氣ノ上。辞シカタキ所ナリ。當世ノ人。只自己ノ飯ヲ吃シ。自己ノ衣ヲ著スルノミ知リ。若人有テ事ヲ頼トキハ。即眉ヲ攢。額ヲ蹙。恩ヲモ義ヲモ

顧スシテ。之ヲ辭ス。平生人ニ代テ。一荷ノ荷ヲモ挑ズ。一件ノ事ヲモ解カル如キ者。己が身ニ事アル時ハ。必ス人ヲ頼。若人己が如ク辭スル時ハ。必定苦シカレベキナリ

○我世人ノ體ヲ見ルニ。臘月ニ至テ。或ハ舊例トシテ。親族ニ米錢ヲ送リ。謝禮トシテ。醫者ニ金子ヲ送リ。其外買物ノ代金。日用ノ給銀。盡ク筭用ス。富貴ノ人ハ。常ニ金銀充滿ス。縱臘月ニ筭用スト云フ。一日モ早夕遣サバ。彼等モ亦越年ノ用意ヲモ快ク調ヘケレ。今日ハ際ナシ。明日ハ事アリ。杯ト云テ。類ニ延引シ。直ニ除夜ニ至テ。筭用ス。故ニ彼等皆コレヲ苦ム。我人共ニ

一刻モ早ク越年ノ用意ヲ調ヘンコトヲ欲ス。恨クハ富貴ノ人。只我事ノ辨スルノミヲ知テ。人ノ事ノ辨セザルヲ知ラス。誠ニ嘆ベン嘆ベン

○隣ニ喪アラバ。高ク歌ヒ快ク酒ヲ飲ベカラス。新喪ノ家ニ往テハ。高ク語り。大ニ笑ベカラス。今時ノ人。人ニ喪アルコトヲ知テ。我ニ喪アルコトヲ知ラス。故ニ隣ニ喪アルヲモ憚ス。我家ニハ酒宴ヲ催シテ。吹彈歌舞シテ樂ム。若我ニ喪アル時。人亦如此セバ。果シテ我心如何ンゾヤ

○人急難アリテ。獨苦ト云ヘ凡。人ニ告ルヲ耻テ。怒ノ色露レナバ。我其意ヲ量テ。其故ヲ問。肯テ之ヲ助セン

○人ノ惡ヲ攻ルニ。太々嚴ナル時ハ却テ彼カ怒リヲ惹。再ビ改メシムルコトカタカルベシ。只其人ノ好ム所ニ因テ諫言ヲ加ヘバ。彼遂ニ從フベシ

○我人ニ恩ヲ施シテ。報ヲ求ズ。人我ニ仇ヲ報。凡我コレヲ恨ス。若忍テ能スンバ。カヲ用テ忍ベシ。若受ルコト能ズンバ。心ニ耐テ。再受ベシ。此中ニ於テ。許多ノ煩惱ヲ除ク

○君子ハ人ヲ險ニ廻ラシメズ。人ノ危急ノ時ニ當テハ。操縦我ニアリ。寛仁ナルコト一分スレバ。則彼一分ノ意ヲ受。若之ヲ扼テ已サレバ。喩ヘバ鳥困窮スルトキハ攫ミ。獸困窮スルトキハ搏。反テ之ヲ噬ノ禍。一サニ救ヘカラス

凡ソ事ヲ作ニハ第一念ハ我爲ニ思量シ。第二念ハ人ノ爲ニ思量スベシ。若シ我人共ニ互ニ利アル事ナラバ空ク之ヲナスベシ。若シ己ヲ利シテ人ヲ損スル事ナラバ須ク之ヲ休ベシ。今時ノ人ハ己ヲ利シ人ヲ損スル如キ事ヲ第一ノ便宜トス。是乃チ不仁不義ノ爲トシテ。何ゾ云ニ足ンヤ。若シ己ヲ損シ人ヲ利スル如キ事是上ケノ人事願ハ同志ノ人ト共ニ之ヲ圖ラン

第六 制作章

○書ヲ作り歌ヲ作ル所必ス意ヲ加フベシ。若シ陰徳ヲ傷フ如キ事ヲ作り出サバ唯己カ罪ノミニアラス。必子孫ニ報フ。凡ソ傳聞タル珍事。口ヲ閉テ之ヲ云フ

ナカレ若奇異ノ事トシテ人ニ語ルトアラバ唯忠厚ヲ傷フノミナラス。人疑テ我作レル所トシ背ニ必誹ルベシ

○天文術數ノ書コレヲ習テ何ノ益カアラン。精ヲカレバ味ナシ。精ケレバ危カルベシ。今時ノ天文者精カラズシテ精ノ名ヲ聞ス。是禍ヲ招ク基ナリ

第七 知足歌

○世人皆碌々トシテ足ルトヲ求ム。何レノ時カ能足ルトヲ得ンヤ。都テ利鎖名韁ノ爲ニ人ヲ牽レ。東ニ走リ。西ニ奔リ。各千思萬想シテ。徒ニ心曲ヲ勞ス。富貴貧賤ハ原來命中ニ定ル。何ゾ能人カノ及ンヤ。只分

ヲ安ズル時ハ樂自ラ生ス。春ハ盛林ノ内ニ於テ花
 ヲ賞シ。夏ハ陰樹ノ下ニ於テ納涼シ。秋ハ北窓ノ前ニ
 於テ月ヲ看。冬ハ爐竈ノ上ニ於テ酒ヲ温メ。獨自ラ
 我心ヲ慰ハ。何ノ煤カ之ニ如シ。人生一世足ルヲ
 知レバ即足ル。足ルヲ知ラサレバ終ニ足ス。利欲ノ爲
 ニ纏レル人晝夜精神ヲ勞シテ。財ヲ圖ル。縱千變萬
 化スト云フ。凡命中ノ福分ヲ越シテ最カ多カルベシ自
 ラ之ヲ曉ズンバアルベカラズ

增補廣類願體俚諺鈔卷一



